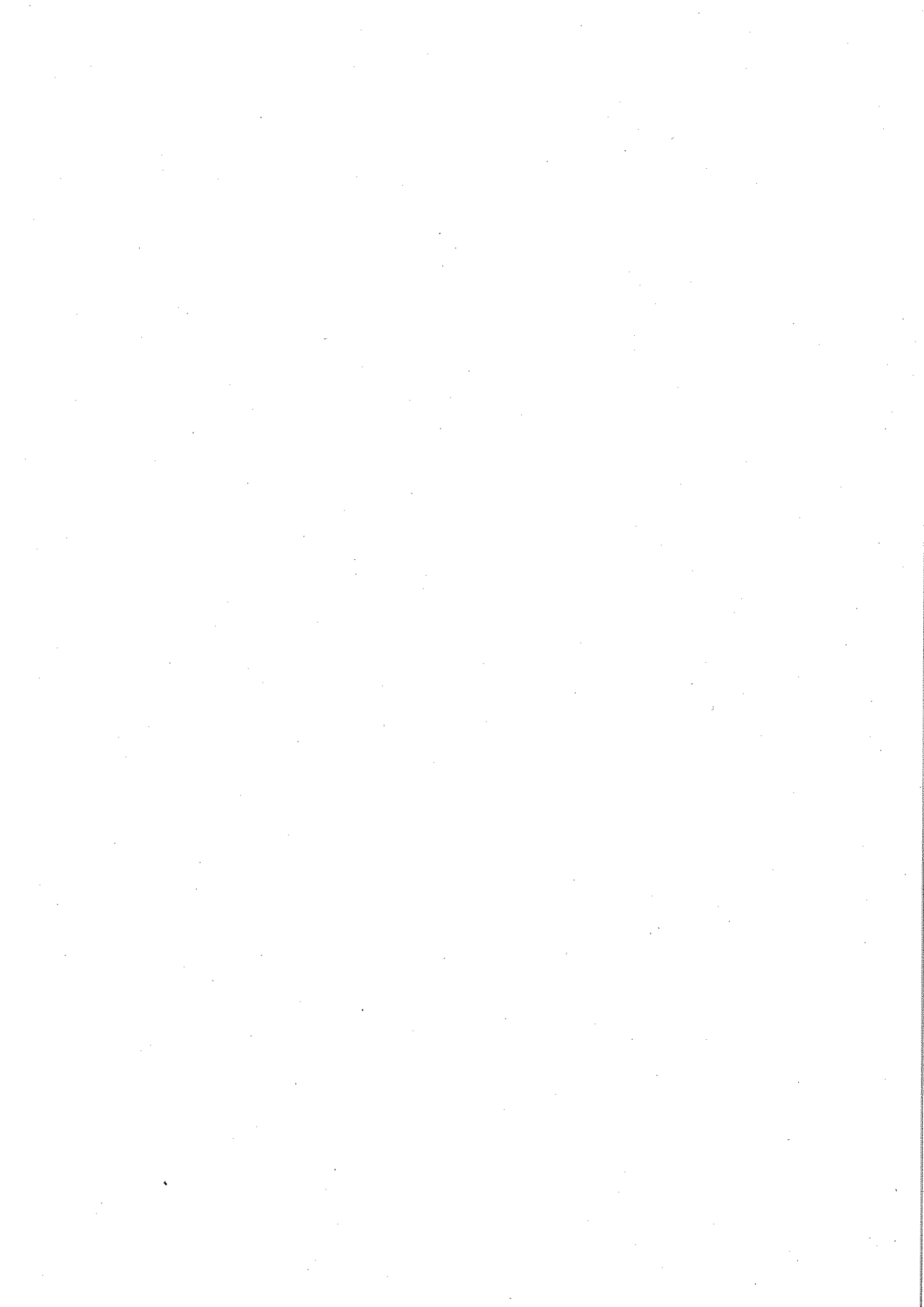


豊監報第 29 - 9 号
平成 29 年 11 月 30 日

豊岡市監査委員 保 田 勇 一
豊岡市監査委員 中 嶋 英 樹
豊岡市監査委員 木 谷 敏 勝

財政援助団体等に対する監査（出資団体監査）結果報告について
（ 北但東部森林組合 ）

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査（出資団体監査）を実施したので、同条第 9 項の規定により、その監査の結果に関する報告を別紙のとおり提出します。



財政援助団体等監査結果報告書 (出資団体監査)

I 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による監査（出資団体監査）

II 監査の対象

1. 監査の対象

北但東部森林組合

（当該団体の事業に係るコウノトリ共生部農林水産課の事務を含む。）

2. 選定理由

前回の監査は、平成24年10月に実施されており、一定の期間を経ている。

また、平成18年度豊岡型地域資源循環システムの実現や産業の活性化による地域振興を図ることを目指して策定された「豊岡市バイオマスタウン構想」の柱の一つに位置付けられている市内間伐材等を活用したペレット化を図る木質バイオマス利活用促進事業についての検証を行うため、当年度の監査対象とした。

III 監査の目的と範囲

重要リスクに対する内部統制の整備状況及び運用状況を監査し、その有効性を評価するとともに、当該事務が関係法令及び規程等に準拠し適正で効率的かつ効果的に行われているかを、証ひょう書類等を突合するなどの監査手続を通じて検証する。

なお、今回の監査は、北但東部森林組合（以下「組合」という。）における出納その他の事務及び組合の事業に係るコウノトリ共生部農林水産課の事務が、関係法令等にのっとり適正に行われているかという観点から、平成26年度から平成28年度までの3年間を監査の対象範囲として実施した。

IV 監査の着眼点

監査の実施にあたり、監査の着眼点を次のとおり設定した。

1. 出資団体関係

- (1) 定款並びに経理規程等諸規程に基づいた事務が執行されているか。
- (2) 設立目的に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 決算諸表等は、法令等に準拠して作成されているか。
- (4) 事業成績、財政状況は適正に決算諸表に表示されているか。
- (5) 経営成績及び財政状況は良好か。
- (6) 出納関係帳票等の整備、記帳は適正になされているか。また、証拠書類の整備、保存は適切か。
- (7) 会計経理及び財産管理は適切か。活用されていない財産等はないか。
- (8) 資金運用は適切か。また、経費節減は図られているか。

(9) 現金や預金通帳、印鑑の管理体制は適切か。

2. 所管部局関係

(1) 経営成績及び財政状況を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。

(2) 出資者としての権利行使は適切に行われているか。

(3) 出資団体への補助金及び委託業務等が適切に処理されているか。

V 監査の主な実施内容

組合及びコウノトリ共生部農林水産課を対象に、監査委員事務局職員による事前監査（㈱豊岡ペレットの現地確認を含む。）を実施した。

特に組合については、主な着眼点毎に、内部統制の整備状況及び運用状況について、事前監査点検事項を設定する方法により監査を実施した。

(1) 事前監査の実施 平成29年10月19日

(2) 監査委員監査の実施 平成29年10月25日

(3) 監査委員名 監査委員 保田勇一、監査委員 中嶋英樹、監査委員 升田勝義

※升田勝義監査委員は、平成29年10月31日で任期満了した。

VI 監査の実施場所及び日程

1. 監査の期間 平成29年9月13日から同年10月31日

2. 実施場所 北但東部森林組合、株式会社豊岡ペレット現地及び市役所本庁舎内会議室

VII 監査の結果

今回の監査は、平成26年度から平成28年度までの3年間の執行事務について聴取し、関係諸帳簿の検査を実施した結果、北但東部森林組合は出資目的に沿った事業を展開しており、豊岡市の施策目的を達成する上でも有用であり、おおむね適正に執行されていると認められた。

なお、監査結果の主要事項と所見は次のとおりである。

文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

1. 団体の概要

(1) 概要

団体の名称	北但東部森林組合
設立年月日	昭和46年11月1日
出資金	301,905,900円
出資口数	3,019,059口
総代数	200人
組合員数	6,638人 正組合員6,611人、准組合員27人
豊岡市からの出資	157,872,900円 (出資割合 52.29%)
代表者名	代表理事組合長 太田垣 秀典 (常勤)
施設の設置状況	本 所 豊岡市高屋894-1 森林研イカルセンター 豊岡市出石町奥小野426-11

(注) 平成29年3月31日現在

(2) 組織

		理事(人)	監事(人)	計(人)
役員	常勤	1	—	1
	非常勤	11	3	14
	計	12	3	15
職員	正職員	—	—	10
	臨時職員等	—	—	1
	計	—	—	11

(注) 平成29年3月31日現在

(3) 子会社の概要

名称	株式会社 豊岡ペレット
代表者名	代表取締役 太田垣 秀典
設立年月日	平成23年4月26日
所在地	豊岡市出石町奥小野字大月426番地の12
事業内容	木質ペレットの製造及び販売
資本金	10,000千円 (組合出資割合100%)
役員数	2人 (うち組合役員との兼職者2人)
職員数	3人 (うち組合職員との兼職者1人)

(注) 平成29年3月31日現在

(4) 主な事業

組合の事業としては、指導部門、販売部門、加工部門、森林整備部門及び森林経営部門を実施しており、平成28年度の事業内容は次のとおりである。

ア 指導部門

- ① 森林経営計画作成に関する現況調査や測量の実施
- ② 提案型集約化施業の説明会の開催
- ③ 生産森林組合の決算経理や登記事務の指導
- ④ 広報誌「北但東部森林組合だより」の発行
- ⑤ 林業新知識等の林業専門誌の斡旋

イ 販売部門

- ① しいたけ原木、丸棒等の買取販売
- ② 林産事業として、提案型集約化施業の実施

ウ 加工部門

- ① 森林リサイクル事業として、木材破砕受入及びペレット原料の販売等

エ 森林整備部門

- ① 森林整備事業（造林）として、森総研造林・公社造林等の下刈、間伐、土留工、倒木起、作業歩道等の実施
- ② 森林土木事業として、作業道開設、作業道修理等の実施
- ③ 購買事業として、苗木、機械、資材等の販売
- ④ 利用事業として、伐採搬出請負事業、松くい虫防除事業、施設・機材の貸出等の実施
- ⑤ 利用事業（作業班員福利厚生）として、健康保険・厚生年金、退職金掛金等への加入等
- ⑥ 金融事業として、造林資金貸付金の貸付、回収

オ 森林経営部門

- ① 自営森林（所有林 38.16ha・分収林 27.30ha）の維持管理

(5) その他

組合は、平成 29 年 3 月 31 日現在、次のとおり外部出資している。

		出 資 先	出 資 額 (円)	備 考
系 統		兵庫県森林組合連合会	11,305,000	
		農林中央金庫	3,000,000	
		計	14,305,000	
系 統 外	出 資	兵庫県林業種苗協同組合	41,000	
		但馬材林産加工センター	10,000,000	
	株 式	コウノトリ羽ばたく会(株)	1,000,000	
		(株)豊岡ペレット	10,000,000	組合出資割合 100%
		計	21,041,000	
		合 計	35,346,000	

その他兵庫みどり公社への長期預け金として、50,000 円あり。

2. 財務状況の分析

平成26年度から平成28年度の3か年の財務状況は、以下のとおりである。

(1) 北但東部森林組合

< 経営成績 >

(単位：千円)

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
事業総収益	535,141	491,557	389,034
指導	3,418	7,016	3,056
販売	33,092	48,479	51,839
加工	44,463	35,454	37,590
森林整備	332,646	319,416	251,733
購買	11,920	10,484	7,487
利用	109,193	70,214	37,168
金融	111	136	85
森林経営	298	358	76
事業総費用	421,572	390,120	300,157
指導	4,073	8,563	4,419
販売	29,129	42,257	32,973
加工	25,021	25,227	24,087
森林整備	245,993	227,772	177,750
購買	9,698	8,083	6,368
利用	107,565	78,122	54,492
金融	93	96	68
森林経営	0	0	0
事業管理費	98,320	92,282	82,211
人件費	71,562	64,365	56,724
事務費	2,230	2,413	2,164
業務費	3,011	2,937	2,608
施設費	16,447	17,198	15,998
その他	5,070	5,369	4,717
事業外収益	947	2,866	11,364
事業外費用	3,803	4,786	255
經常利益	12,393	7,235	17,775
特別利益	8,470	0	22,552
特別損失	9,970	0	22,055
税引前当期利益	10,893	7,235	18,272
法人税等	2,690	623	2,076
当期剰余金	8,203	6,612	16,196
当期末処分剰余金	13,241	10,170	21,991

< 財政状態 >

(単位：千円)

項 目		平成26年度	平成27年度	平成28年度
貸借対照表	流動資産	575,548	513,531	511,765
	預金	345,420	313,557	318,396
	未収金	212,904	178,375	170,896
	立替金	3,139	3,063	2,915
	仮払金	2,420	7,659	3,058
	固定資産	238,509	234,248	240,433
	有形	209,086	205,283	211,999
	建物	76,062	76,062	76,062
	機械装置	71,952	71,952	78,675
	車輛運搬具	36,288	37,878	44,380
	工器具備品	19,694	19,363	19,363
	△減価償却引当金	△ 137,480	△ 146,108	△ 154,867
	土地	71,226	71,226	71,226
	森林	71,344	74,910	77,160
	無形	651	413	231
	外部出資	25,396	25,396	25,346
	その他資産	—	—	50
	貸付金	3,376	3,156	2,807
	資産合計	814,057	747,779	752,198
	流動負債	110,891	53,269	44,891
	未払金	64,931	23,258	28,331
	預り金	9,720	8,082	7,020
	引当金	13,134	12,357	4,560
	固定負債	57,241	45,850	46,063
	役員退任慰勞(給付)引当金	8,348	13,922	11,876
	職員退職給付引当金	46,742	30,123	32,679
	負債合計	168,132	99,119	90,954
	資本合計	645,925	648,660	661,244
	出資金	303,352	302,508	301,906
	利益剰余金	329,186	335,836	337,186
法定準備金	128,490	130,140	131,490	
損失補てん積立金	55,382	55,382	62,696	
施設拡張積立金	116,000	121,000	131,000	
役員退職積立金	17,314	17,314		
任意積立金	12,000	12,000	12,000	
当期末処分剰余金	13,241	10,170	21,991	
資本準備金	146	146	161	
負債及び資本合計	814,057	747,779	752,198	

(注) 数値は、各年度末現在の状態である。

(2) 株式会社豊岡ペレット (子会社)

< 経営成績 >

(単位：千円)

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日	自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日	自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月31日	
損益計算書	売上高	27,088	21,279	15,444
	売上原価	23,358	20,954	19,294
	売上総損益	3,730	325	△ 3,850
	一般管理費及び販売費	4,141	3,470	2,707
	営業損益	△ 411	△ 3,145	△ 6,557
	営業外損益	561	1,694	2,406
	経常損益	150	△ 1,451	△ 4,151
	特別損益	0	0	0
	税引前当期損失(利益)	150	△ 1,451	△ 4,151
	法人税等繰入	82	82	82
	当期損失(利益)	68	△ 1,533	△ 4,233
	ペレット売上高(トン)	684.00	533.82	382.34
ボイラー用	533.00	412.00	264.00	
ストーブ用	151.00	121.82	118.34	

< 財政状態 >

(単位：千円)

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
流動資産	28,071	26,726	19,669	流動負債	32,831	32,785	29,922
預金	23,187	19,241	14,210	買掛金	24,630	24,670	19,798
売掛金	1,574	2,114	1,652	未払金	7,578	7,588	9,566
棚卸資産	3,210	4,388	1,577	未払法人税等	82	82	82
未収金	0	972	2,219	未払消費税	448	396	471
固定資産	284	337	297	資本	△ 4,189	△ 5,722	△ 9,956
工器具備品	518	518	518	資本金	10,000	10,000	10,000
△減価償却累計	△ 234	△ 281	△ 321	未処分損失金	△ 14,189	△ 15,722	△ 19,956
出資金	0	100	100				
繰延資産	287	-	-				
資産合計	28,642	27,063	19,966	負債・資本合計	28,642	27,063	19,966

(単位：千円)

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
未処分損失金内訳	14,189	15,722	19,956
前期繰越損失金	14,257	14,189	15,722
当期損失(利益)	68	△ 1,533	△ 4,234
組合への債務	32,113	31,312	29,314
買掛金	24,630	24,670	19,798
未払金の一部	7,483	6,642	9,516

(注) 数値は、各年度末現在の状態である。

<ペレット製造量、販売量及び売上高の推移>

○年間製造目標 1,500トン（製造能力：時間当たり1トン）

（単位：トン、千円）

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	計
製造量	347	516	621	737	565	309	3,095
販売量	293	516	644	684	534	382	3,053
在庫量	54	54	31	84	115	42	—
売上高	11,777	22,295	25,557	27,088	21,279	15,444	123,440

（注）無料配布の実績はなし。

<ペレット原材料及び買取実績の推移>

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	計
原材料（トン）	724.56	1,645.86	1,720.17	2,189.79	1,699.29	1,034.45	9,014.12
買取価格（千円）	5,434	12,344	9,461	8,978	6,457	2,897	45,571
買取単価（円）	7,500	7,500	5,500	4,100	3,800	2,800	—

3. 市の関与の状況

平成26年度から平成28年度の3か年の市の関与の状況は、以下のとおりである。

（1）補助金交付状況

（単位：円）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
① 森林管理100%作戦推進事業	9,159,953	11,284,719	5,483,099	間伐等経費の補助
② 森林整備地域活動支援交付金事業	3,220,000	6,816,000	2,862,000	森林施業の集約化の促進等
③ 緊急防災林整備事業	11,706,723	17,003,010	21,814,980	簡易土留工の施工等の補助
④ 林業機械システム整備事業	—	—	5,853,402	グループ付トラック（10t）
計	24,086,676	35,103,729	36,013,481	

（2）委託業務の状況

（単位：円）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
① 鹿侵入防止柵設置業務	2,993,760	—	—	実証実験用防止柵の設置
② 林業後継者確保育成業務	20,582,002	14,256,000	—	バッファゾーンの整備
③ 市行造林保育等業務	22,203,720	23,480,280	20,988,720	分収林の保育
④ 松くい虫防除関係業務	11,587,044	5,378,832	3,289,946	地上散布、伐倒駆除等の実施
⑤ 森林環境整備業務	3,000,0000	2,985,120	2,991,600	間伐材の利用促進
計	60,366,526	46,100,232	27,270,266	

(3) 主要工事の状況

(単位：円)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
① 作業道開設工事 (施工場所)	15,044,400 但東町平田・木村、 出石町奥山 施工延長 L=3,730m	19,271,520 但東町薬王寺・出合市場、 日高町羽尻、城崎町湯島 施工延長 L=4,550m	17,746,560 日高町猪ノ爪、但東町奥 藤・出合市場・河本 施工延長 L=3,615m
計	15,044,400	19,271,520	17,746,560

4. 所見

(1) 組合の現状

組合の事業エリアは、豊岡市全域である。市域の約8割を占める山林のうちスギ・ヒノキの人工林は43%、その人工林のうち72%が46年を経過した高齢人工林であり、災害発生につながりかねない手入れ不足の人工林も多く存在する。また、保有山林面積が10ha未満の林家が93%と小規模・零細な林家が極端に多い状況であり、これらを団地化するなど一体的、効率的な施業が求められている。

森林は、国土保全、水源涵養等の公益的機能はもとより、温室効果ガスの吸収や土砂災害の抑制などの多面的機能も併せ持つことから、組合としても森林整備部門に積極的に取り組まれている。

(2) 組合の経営状況

今回の監査対象範囲である平成26年度以降は、当期純利益を計上するなど、安定した経営状態となっている。

収益構造をみると、造林・下刈・間伐等の森林整備事業と作業道開設などの森林土木事業の森林整備部門が全体収益の約2/3を占めており、事業量の増減によって経営状況も大きく影響を受ける構造となっている。伐採搬出請負や松くい虫防除などの利用事業、しいたけ原木や提案型集約化施業などの林産事業、ペレット原料販売等の森林リサイクル事業等にも取り組まれているが、経営の安定や雇用確保、更には災害抑制のための健全な森づくりの面からも豊岡市等からの一層の協力を得て、毎年度一定の事業量の確保や更なる収入源の確保を図るなど、バランスの良い収益構造への転換が望まれる。

費用面では、特に事業管理費の圧縮が進められており、人件費や事務費等への経営努力が伺える。

(3) 株式会社豊岡ペレット

組合の100%出資子会社である株式会社豊岡ペレットについては、未処分損失金が平成28年度末で約2,000万円、北但東部森林組合への債務が29,314千円にのぼるなど、非常に厳しい経営状況にある。組合定期監査でも再々指摘があるところである。

現在、豊岡市では公認会計士に依頼し、経営分析等を行うこととし抜本的な対応策について、できるだけ早く方向性を出したいとしている。組合全体の経営状況にも大きな影響を与えることから、また、組合員への経営責任や市民への説明責任からも、早期に方向性を決定すべきである。

ペレット事業の経営改善のため組合自身も引き続き努力する必要がある。豊岡市と組合と相互に連携・協力し、朝来バイオマス発電所(組合への要請量:木材2,000トン、チップ1,000トン)をはじめ更なる販路拡大等状況打開に向けて努力願いたい。

(4) 財務処理等

株式会社豊岡ペレットの貸借対照表で組合への債務として買掛金及び未払金が29,314千円計上されている。一方、組合では未収金で処理されている。買掛金に対しては売掛金が勘定科目であり、改め

て確認願いたい。また、利益剰余金について、特別積立金及び各種引当金が計上されている。組合監事からも指摘があるとおり、一定の基準に基づき計上されるよう、ルール作りが必要と思われる。

今後とも、組合員にとってわかりやすく、丁寧な、そして経営状況が十分把握できる財務諸表の作成に留意願いたい。

(5)ペレットボイラー及びペレットストーブ

株式会社豊岡ペレットでのペレット製造量・販売量が平成 26 年度をピークに平成 28 年度は約 1/2 に減少している。要因としては、灯油燃料と比較しペレットは割高であることや、出口(需要)にあたる特にペレットボイラーを設置している温泉施設等の使用が極端に減少しているためである。また、ペレットストーブは 338 台あり、そのうち小中学校は 3/4 を占めている。

株式会社豊岡ペレットの経営安定や二酸化炭素の発生抑制からも出口(需要)ペースでの一定量の確保が必要である。

(6)総括

組合では、「山と森と木のことはまず北但東部森林組合へ」と言われるように、信頼される魅力ある森林組合を目指すとしている。

国では、森林整備の財源として「森林環境税」の創設が検討されている。森林の持つ公益的機能や多面的機能を一層発揮させるためには、新税の狙いである所有者不明の森林を整備することがポイントの一つになると考えられ、豊岡市においても同様の状況にある。

豊かな森林は、豊かな農地、川、海を育むことにつながる。森林の保全・再生を図るためには、組合の役割と責任は大切であり重要である。

今後とも、搬出間伐地等の新規事業地の確保、森林・林業の集約化・団地化の推進、路網の整備、高性能林業機械による低コスト化を図るとともに、特に林産部門の必要な人材の育成を軸とした効率的、安定的な森林経営の基盤づくりを進め、植えて・育てて・利用する循環型林業の再構築と組合定款の目的に定める「組合員が協同してその経済的社会的地位の向上並びに森林の保続培養及び森林生産力の増進」に努められるよう期待するものである。

【森林リサイクルセンター】木材破碎



【森林リサイクルセンター】チップ化



【豊岡ペレット】木質ペレット



